資料④

# 循環のみち下水道環境教育モデルプログラムの実施フロー（平成21年度）＜案＞

小学校 | 地方公共団体 | 国土交通省

**H21.5月～6月**

地方公共団体の公募（応募）／モデルプログラム実施（募集・採択）

○関係部署、施設など、モデルプログラムの実施に必要な体制等の検討

○下記を勘案し、採択自治体を決定
- ・対象地方公共団体数（3～5程度）
- ・実施の実現性
- ・地方公共団体における関係機関の協力体制
- ・モデルプログラムとしての波及効果 など

**H21.7月～8月**

○夏休み期間中の教員研修の一環として教員を派遣（募集／参加）

○教員向け研修の実施（教科研究会等の活用）
- ・「循環のみち」の実現に向けた取り組みを紹介
- ・各単元毎のコンテンツの内容及びその授業での活用方法の紹介
- ・モデルプログラム構想案の紹介

＜特にアドバイス頂きたいポイント＞
●研修会を独自に設定し、広く教員に参加を呼びかける方式、
●教員による各教科部会等の研修会の中で実施させていただく方式
などが考えられるが、どのような方法が実現しやすいか。

本日の懇談会では、この研修に向けた材料をご議論いただきたい。

**H21.8月～9月**

プログラム実施校の決定（応募／採択）

○上記研修を通じて、モデルプログラムの実施要望を有する学校が応募。（地方公共団体が国土交通省に推薦）

○下記を勘案し、プログラム実施校を決定
- ・対象小学校数（各地方公共団体1～2程度）
- ・実施の実現性
- ・学校内の協力体制
- ・モデルプログラムとしての波及効果

**H21.9月以降**

○モデルプログラムの策定
- ・国、地方公共団体と共同で策定。

○モデルプログラムの展開

支援

○モデルプログラムの策定
- ・対象校と共同でオーダーメイドのプログラムを策定。

○モデルプログラムの展開支援
- ・教材コンテンツ等の提供
- ・講師の派遣
- ・施設見学　など

成果の共有

○コンテンツの改善検討

○今後のモデルプログラムへの成果の反映